5月

感 染 症 週 報

（三宅管内感染症発生動向調査報告）

令和 7(2025)年 第 17 週（ 4/21 ～ 4/27 ）

三宅島　感染症の報告はありません

御蔵島　感染症の報告はありません

（三宅管内感染症発生動向調査より集計）

東京都の注目される定点把握対象疾患　≪ 東京都感染症週報　第16週 ≫

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、3.46で前週(2.55)より増加しています。
今後の動向に注意が必要です。

島しょの情報（11島の医療機関からの報告）　≪第17週（4/21～4/27）≫

・感染性胃腸炎の医療機関あたりの報告数は、0.64 で前週(0.64)から横ばいで推移しています。
・新型コロナウイルス感染症の医療機関あたりの報告数は、0.09 で前週(0.64)より減少しています。

NEWS　5 月 5 日は「世界手指衛生デー」です（世界保健機関：WHO）

WHO では、毎年 5 月 5 日に感染対策の基本である手指衛生に関するグローバルキャンペーンを展開しています。メインテーマは、「It might be gloves, it's always hand hygiene.：手袋は必要な時もある。でもいつも必要なのは手指衛生」です。

ポスター「世界手指衛生デー」（日本感染症学会より掲載）

手洗いの父、センメルヴェイス

センメルヴェイス（Semmelweiss：1818～65 年）は、ハンガリー出身の産科医で、診療の前に次亜塩素酸カルシウムの溶液で手洗いをすることで産褥熱を防ぐことを実証した。その後も手洗いの重要性を説き普及に努めたが、当時は病原体としての細菌の存在すら知られていない時代で支持者は少なかった。後に彼の業績は高く評価され母親達の救世主と崇められた。日本でもセンメルヴェイス生誕 200 周年にあたる 2018 年に渋谷にある日本赤十字社医療センターに胸像が設置されている。

手指衛生　なぜ？　どのように？　いつ？

主に医療及び介護の現場では、肉眼的な汚染がない限り、手指衛生は擦式アルコール製剤による手指消毒を選択します。流水と石けんによる手洗いよりも短時間かつ高い効果が得られ、肌荒れの原因にもなりにくいためです。 流水と石けんによる手洗いは、肉眼的な汚れや血液などの体液の付着がある場合、または医療従事者本人がトイレを使用した後に行います。芽胞を形成する細菌およびノロウイルス等の擦式アルコール製剤が効きにくい曝露が疑われるときは、流水と石けんによる手洗いを基本とします。

「3 月のライオン」川本三姉妹と一緒に学ぼう手の洗い方！

参考：手指衛生　なぜ？どのように？いつ？WHO 手指衛生多角的戦略に基づくツール集（日本環境感染学会）

（編集・発行）東京都島しょ保健所 三宅出張所
電話 04994-2-0181　FAX 04994-2-1009
https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/miyake/

手洗いの父センメルヴェイス
（日医 on-line:日本医師会）

島しょ保健所三宅出張所管内 感染症発生動向調査

三宅出張所管内　定点把握対象疾患報告数

令和7(2025)年　**第 17 週**　令和7年　4/21 ～ 4/27

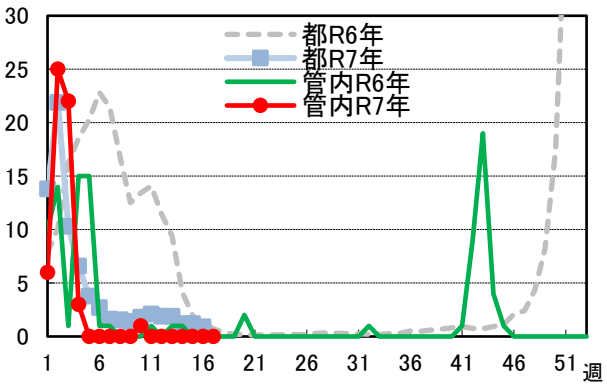
疾病名（小児科定点及びインフルエンザ/COVID-19定点）	令和7(2025)年 12 週	13 週	14 週	15 週	16 週	17週	令和7(2025)年累計	東京都定点あたり 16 週
RSウイルス感染症							0 (0)	0.40
咽頭結膜熱							0 (0)	0.24
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎							0 (0)	3.46
感染性胃腸炎					1 (0)		1 (0)	7.60
水　痘							0 (0)	0.51
手 足 口 病							0 (0)	0.06
伝染性紅斑							0 (0)	0.86
突発性発しん							0 (0)	0.25
ヘルパンギーナ							0 (0)	0.00
流行性耳下腺炎							0 (0)	0.03
MCLS（川崎病）							0 (0)	0.03
不明発しん症							0 (0)	0.08
インフルエンザ							57 (3)	0.94
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	1 (0)	1 (0)		1 (1)			19 (5)	1.03

※カッコ内：御蔵島報告数の再掲

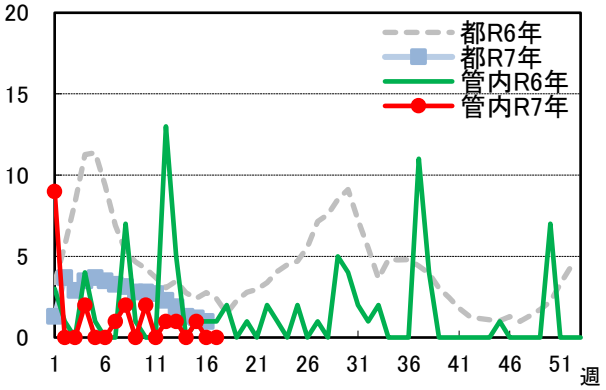
【三宅島出張所管内】患者報告数推移グラフ

管内は三宅・御蔵両島の発生数計
都は定点あたり発生数

■インフルエンザ



■新型コロナウイルス感染症



※5類感染症は、感染症発生動向調査を通じ皆さまに情報提供をすることにより、
感染症の発生および、まん延・拡大を防止することが目的です。

三宅管内の感染症状況は、落ち着いていますが陽性者がいないわけではありません。
今後の患者報告数を注視し、油断せず状況に応じて、
部屋の換気・咳エチケット・手洗いの基本的な感染対策を続けてください。